

2020年1月29日  
株式会社リクルートキャリア

## 2019年10-12月期 転職時の賃金変動状況

「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数の割合」は29.6%  
前年同期比0.2ポイント低下

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）が提供する転職支援サービス『リクルートエージェント』における2019年10-12月期の「転職時の賃金変動状況」を報告します。「転職時の賃金変動状況」では、“転職決定者の賃金は転職前後でどのように変化しているのか”という点に着目し、「前職と比べ賃金が明確に（1割以上）増加した転職決定者数の割合」の経年変化を観察していきます。

### 【算出式】

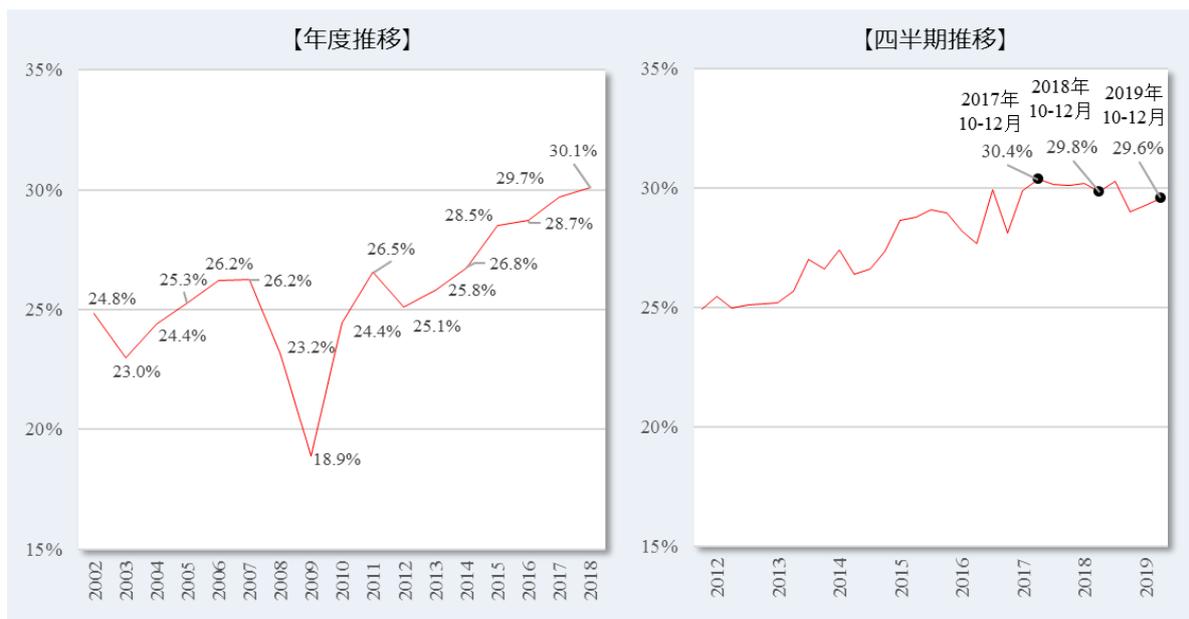
$$\frac{\text{「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者数」}}{\text{「転職決定者数合計」}} \times 100 \text{ (単位：\%)}$$

※前職（転職前）の賃金は時間外労働等の「変動する割増賃金」を含む一方、転職後の賃金にはそれらが含まれないため「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は実態よりも低めの値となる傾向があります。

### ■全体

10-12月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は29.6%。

2013年度以降、上昇基調が続いていたが、足許では幾分減速感がみられており、2019年10-12月期も前年同期比0.2ポイント低下と前年を下回った。



■職種別

IT系エンジニア：

10-12月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は30.6%。

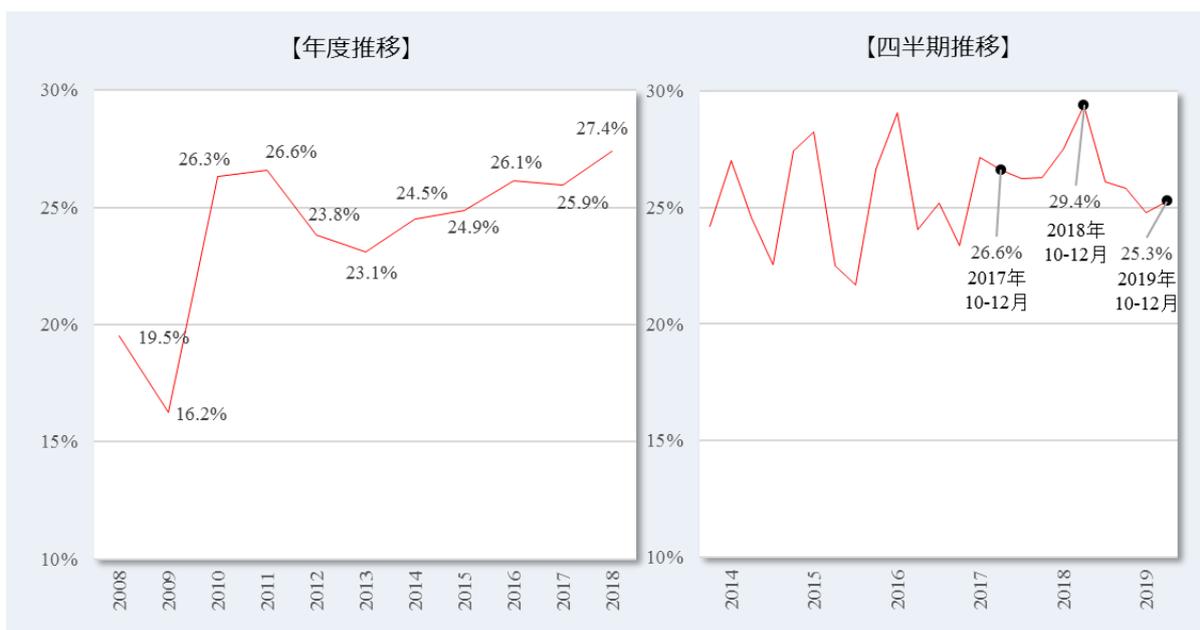
2014年以降上昇基調が続いていたが、足許では横這い圏内の動きが続いている。



機械・電気・化学エンジニア：

10-12月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は25.3%。

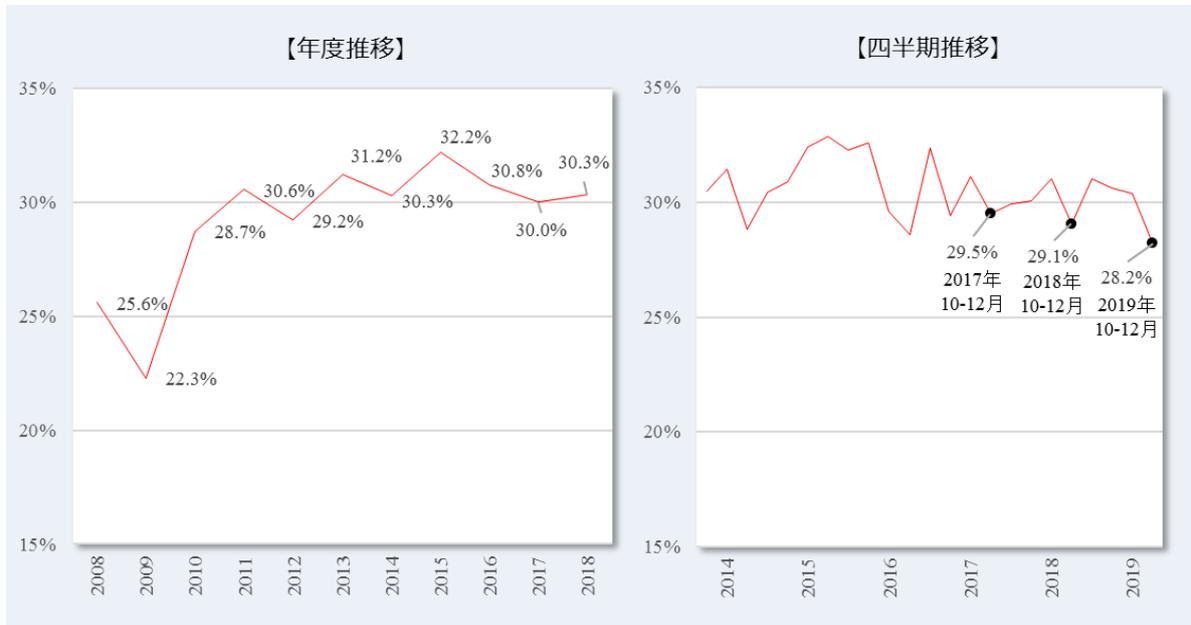
2014年以降、振れを伴いつつも上昇基調が続いていたが、2019年入り後は動きが鈍く、2019年10-12月期も前年同期比4.1ポイント低下と前年を下回った。



営業職：

10-12月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は28.2%。

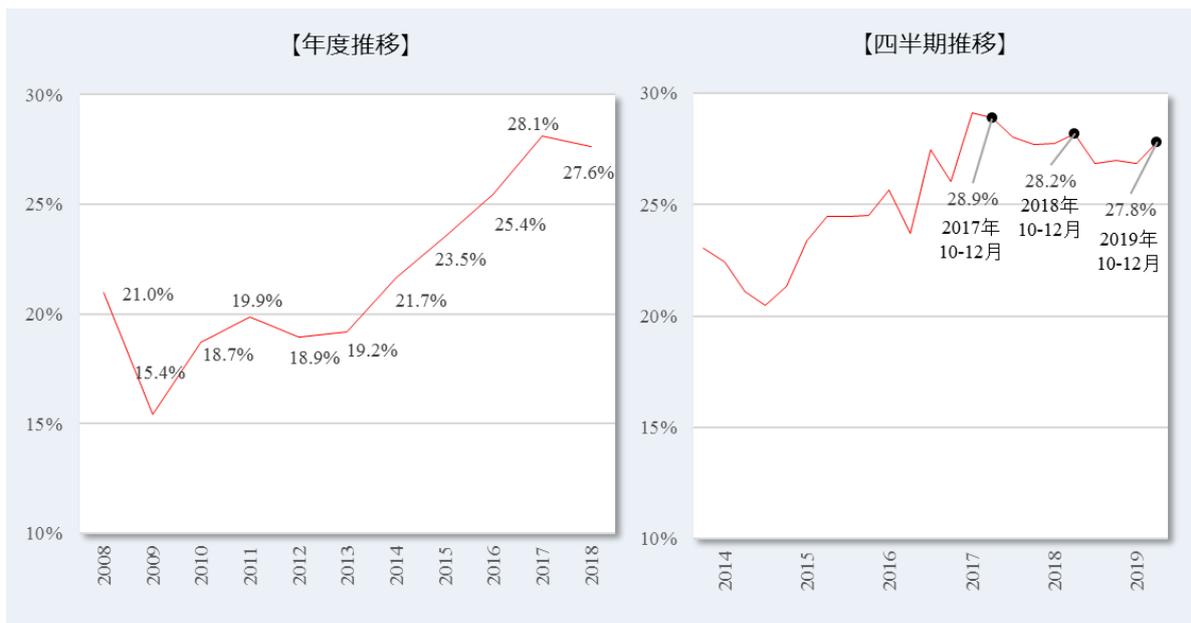
このところ、振れを伴いつつも横這い圏内での動きが続いていたが、2019年10-12月期は前年同期比0.9ポイント低下。



事務系専門職：

10-12月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は27.8%。

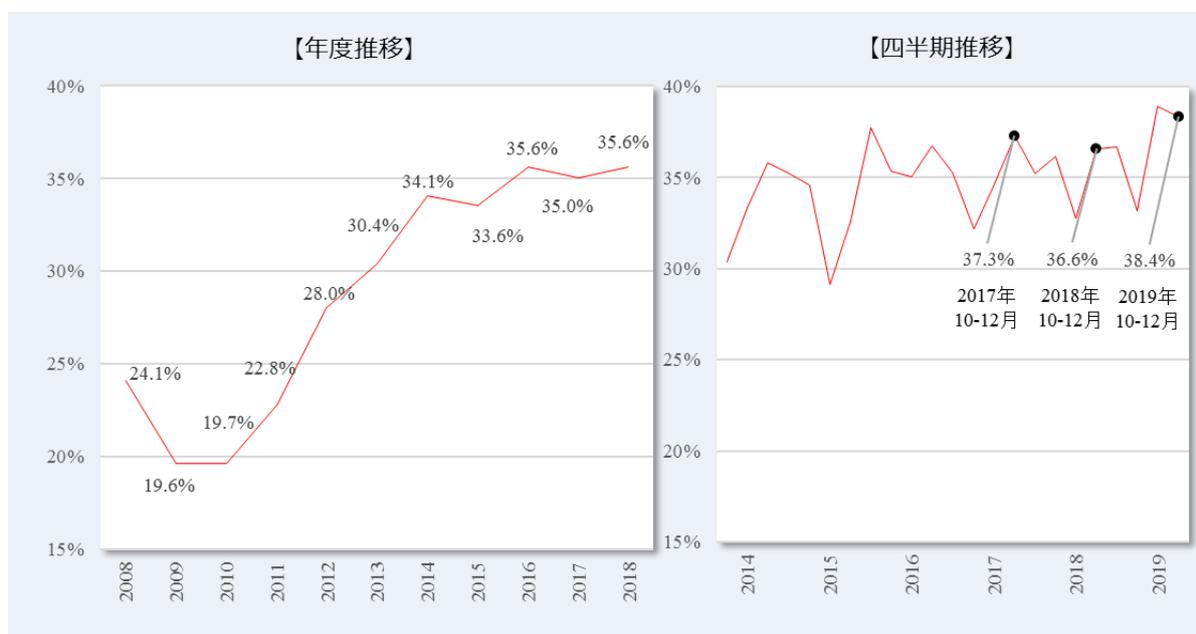
2017年以降、幾分弱めの動きが続いており、2019年10-12月期も前年同期比0.4ポイント低下。



接客・販売・店長・コールセンター：

10-12月期の「前職と比べ賃金が1割以上増加した転職決定者の割合」は38.4%。

2019年10-12月期は前年同期比1.8ポイント上昇。2015年度以降、概ね横這い圏内の推移が続いていたなかで、幾分強めの動きとなった格好。



免責事項：

掲載されている数値は、転職支援サービス『リクルートエージェント』のデータをもとに、リクルートキャリアが独自に算出したものです。情報の内容の正確性については万全を期しておりますが、その時点での提供可能な情報であり、その正確性を保証いたしかねますこと、あらかじめご了承ください。またシステムにおける障害の発生、システムのメンテナンス等のため、情報提供を一時的に停止する場合があります。

本件に関する  
お問合せ先

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ  
TEL：03-3211-7117 MAIL：kouho@waku-2.com